

「神宮前五丁目地区まちづくり方針（案）」に対するパブリックコメントの結果と見解・対応

<パブリックコメントの概要>

【募集期間】令和 7 年 2 月 10 日（月）から令和 7 年 3 月 11 日（火）までの 30 日間

【意見総数】53 通（118 件）

【意見の提出方法】WEBフォーム 42 通、メール 11 通

No.	意見の要旨	都の見解・対応
1	<p>まちづくり全般に関するご意見（7 件）</p> <p>方針全体の方向としては、先進的な中小企業が多く、閑静な住宅地でもある青山の地域性にマッチしていると思う。</p> <p>まちづくり方針全体としては、渋谷・青山という地域性や、にぎわいと閑静が融合する計画地の地域特性にマッチしていると思う。</p> <p>広域視点でまちづくりを考え、実行に移せるのは行政ならではの取組だと思いますので、その利点を存分に発揮して、よりよい街にしていければと思います。</p> <p>また、こういう計画は端から見るとすごく時間がかかっている印象を受けるので（仕方ないかもしれませんが）、早期実現も意識しながら取り組んで頂くよう要望します。</p> <p>まちづくり方針の内容については、賛成です。</p> <p>神宮前5 丁目という好立地で弊社は渋谷区で新たに住宅展示場を運営したく、現建物を解体し、更地で土地賃貸借をし、数年間暫定活用されてはいかかが。</p> <p>東京にはすぐれた都市文化がありながら、現状ではその発信性が弱く、そのための施設も乏しい、と思います。先進的な海外の都市では、行政が主体となって都市文化政策が進められています。本地区をその先導事業として、今後、東京都が主体となって総合的な都市文化政策を推進されることを望みます。</p> <p>中途半端な開発に反対。東京都の希少立地のまとまった面積のある土地。将来、後世に残すためにももっと時間をかけて十分な議論をするべき。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p> <p>なお、土地賃貸借による暫定活用は、現時点では想定していません。</p> <p>まちづくり方針に示した将来像「智の創造拠点」として持続的な価値の維持向上を図っていくための取組として、整備・運営内容について民間事業者から提案を受けるとともに、計画段階から将来の企画・運営内容等も見据え、都・専門家・各施設の管理運営者等が連携してマネジメントを行う仕組みを構築することとしています。</p> <p>当地区のまちづくりについて、都は、長期的な検討を重ね、将来的な都有地の一体活用に向けた具体的なまちづくりの検討を行うためのまちづくり検討会を令和5年2月から令和7年1月まで計5回開催し、学識経験者などの意見も参考に、まちづくり方針案を作成しました。</p> <p>なお、パブリックコメントでいただいた意見も参考に、まちづくり方針を策定しています。</p>
2	<p>まちづくり方針策定の背景と位置付け（0 件）</p> <p>-</p>	<p>-</p>
3	<p>将来像（8 件）</p> <p>本地区は、インバウンドの方も必ず立ち寄るような、東京を代表する都市文化の拠点となり得ると注目しておりました。</p> <p>それが今回、将来像として「智の創造拠点」が掲げられ、まちづくり検討会で事例としてとりあげられていた、まさにフィンランドの中央図書館「Oodi」のような都市文化拠点が実現することにわくわく感を覚えます。</p> <p>将来像として示されている『誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」』ですが、実現には『個別な目的を持った人々が「何かをする・何かを楽しむ」空間をそれぞれ提供する』のではなく、『様々な人々が集い、つながり、「新たな何かを生み出す」全体的（フレキシブル）な空間を提供する』べきではないでしょうか。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>

<p>まちづくり方針で示されている将来像は、この地区にとってもあっていると思う。この将来像が実現されることを期待したい。</p>	
<p>誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」という将来像は、この地の特性等に合っており良いと思います。</p>	
<p>将来像に掲げている智の創造拠点が実現されることを大いに期待します。</p>	
<p>「日常的な時間軸での変化を受け止めるフレキシブルな空間を形成」という説明がイメージできない。重要な視点にある「時間軸を加味した利用やニーズ」も意味が読み取れない。</p>	<p>「日常的な時間軸での変化を受け止めるフレキシブルな空間を形成」は、一人一人がその時々において多様な過ごし方の選択を可能とするフレキシブルな空間を形成するという趣旨です。「時間軸を加味した利用やニーズ」は、日常的な一人一人の多様な過ごし方や、時代の変化・多様化するニーズという趣旨です。</p>
<p>誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」という将来像は、創造・交流図書館機能を軸にした、まちづくり方針には、合致したものとするが、「智」の趣旨に記載されている、“受動的だけでなく、能動的な過ごし方もできる”については、“過ごす”という言葉には、あまり能動性が感じられないため、“能動的な活動を誘発する”とか“一人一人が能動的な活動を通じて心の豊かさを実感できる”とか活動に着目した表現の方が“創造と交流”が能動的な活動からも生まれてくる感じが一層分かりやすくなると思う。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、以下を加筆しました。 2. 神宮前五丁目地区の将来像 P7 「智の創造拠点」では、受動的だけではなく、能動的な活動を誘発する環境を整備することで、一人一人が心の豊かさを実感でき、自己実現が図れる場を目指していく。</p>
<p>子供に焦点を当てている点がいいと思います。その子供がいずれ大きくなって親世代になり、その子供世代にいいものを引き継いでいくなど、世代を超えた好循環を生み出すきっかけになるような存在になることを期待します。</p>	<p>まちづくり方針では、こどもの体験機会創出機能について、子供の興味・関心に応じて多様な体験ができる場を創出することで、子供の将来の可能性を広げるとともに、子供を育てる親にも親同士の交流機会や憩いの空間を提供することとしており、神宮前五丁目地区まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>4 導入機能</p>	
<p>(1) 導入機能全般 (12件)</p>	
<p>青山という若者文化情報の集積地に相応しいコンテンツが集まり、上書きされる生きた施設であって欲しい。 (施策：日本のアニメ、マンガ、ゲーム、J-POPといったJ-cultureも図書館のコンテンツとして入れてる)</p>	<p>まちづくり方針では、導入機能について、想定している具体的な機能を記載するとともに、「その他機能」として、将来像実現のために必要な機能が導入されることも想定しています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>どの機能を公共、民間事業者がそれぞれ担うのかが明確ではありません。真に創造・交流機能を発揮するためには、各機能について、公共が担うべき役割、民間事業者が担うべき役割があると考えます。民間事業者に提案を求める上で、各機能について、公共はここまで担う、その前提で、民間とこういった連携を行う、という基本的な考え方を、まちづくり方針において示していただきたい。</p>	<p>まちづくり方針では、まちづくりの将来像や進め方を示しています。 まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>導入機能等の図はまちづくり検討会でも複数委員より再考の指摘があったが変わっていない。リング上の各機能は其々所管行政部門を背景に縦割りで整備することが主張されているようで、また、それらを結ぶリングが何によって機能するのか、創造・交流機能やこどもの体験機会創出機能はどこにどう関連するのか、この2機能が中核であれば、なぜ創造・交流図書館機能は同じ位置にないのか等、意図不明。大切な図であり再考は必須</p>	<p>P8「3.神宮前五丁目地区の導入機能等/(1) 将来像実現に向けた導入機能」では、将来像を実現していくに当たり、「当地区全体で役割を果たす機能」及び「軸となる機能」を設け、導入する各機能を相互に連携させ、相乗効果を発揮させていくこととしています。 まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>

<p>「導入機能等」では、「当地区で役割を果たす機能」として「創造・交流機能」、「こどもの体験機会創出機能」の二つが示されており、「軸となる機能」として「創造・交流図書館機能」が示されています。「図書館を軸として、誰もが創造・交流をし、子供が様々な体験が出来る空間」は、「智の創造拠点」となり得ると思います。</p> <p>しかし、「各機能」は、『個別な目的を持った人々が「何かをする・何かを楽しむ」空間をそれぞれ提供する』機能で、「智の創造拠点」の将来像には結びつかないものではないでしょうか。</p> <p>従って、導入機能は「創造・交流機能」、「こどもの体験機会創出機能」、「創造・交流図書館機能」の3つのみで良いと考えます。</p>	<p>まちづくり方針では、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」を実現していくに当たり、「当地区全体で役割を果たす機能」及び「軸となる機能」を設け、導入する各機能を相互に連携させ、相乗効果を発揮させていくこととしています。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>P.9の「各機能」を示した図ですが、本来は、大きな「創造・交流図書館機能」の輪があり、その中に「各機能」は「例示」として並べられるものではないでしょうか。個別の用途空間の縛りは、「智の創造拠点」の創出を阻害する要素にもなり兼ねないですし、また、「各機能」は「創造・交流」のきっかけであり、組み合わせが重要となりますので、運営も含めて選定を民間に任せる方が良いと思います。</p>	<p>まちづくり方針では、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」を実現していくに当たり、「当地区全体で役割を果たす機能」及び「軸となる機能」を設け、導入する各機能を相互に連携させ、相乗効果を発揮させていくこととしています。</p> <p>まちづくり方針に示した将来像「智の創造拠点」として持続的な価値の維持向上を図っていくための取組として、整備・運営内容について民間事業者から提案を受けるとともに、計画段階から将来の企画・運営内容等も見据え、都・専門家・各施設の管理運営者等が連携してマネジメントを行う仕組みを構築することとしています。これにより、民間の創意工夫を取り入れるとともに、都として計画段階から整備後においても関与していくこととしています。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>「各機能」は既存機能ですので、それらを強く打ち出すとただの「建替事業」のように見えてしまいます。P.9の図は是非変えて頂きたいと思います。同様に、P.12③「各機能」も「各機能の例」として頂きたいと思います。現在の機能は30年前に必要なとされた機能のため、全てを「創造・交流」に結びつけるのは難しいと思われまます。現状機能を続けるのであれば、運営も含めて行政側でやるべきだと思います。</p>	<p>まちづくり方針では、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」を実現していくに当たり、「当地区全体で役割を果たす機能」及び「軸となる機能」を設け、導入する各機能を相互に連携させ、相乗効果を発揮させていくこととしています。</p> <p>「創造・交流図書館機能」と「各機能」は、「創造・交流機能」と「こどもの体験機会創出機能」の両方を担う可能性もあります。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>軸となる機能の「創造・交流図書館機能」と「各機能（劇場機能、女性活躍支援機能、起業支援機能、国連大学、緑地・広場機能、その他機能などの記載の機能）」の各々が当地区全体で役割を果たす機能に位置づけられている「創造・交流機能」と「こどもの体験機会創出機能」の両方を担う事（満たす事）を想定されていますでしょうか。</p>	<p>まちづくり方針では、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」を実現していくに当たり、「当地区全体で役割を果たす機能」及び「軸となる機能」を設け、導入する各機能を相互に連携させ、相乗効果を発揮させていくこととしています。</p> <p>「創造・交流図書館機能」と「各機能」は、「創造・交流機能」と「こどもの体験機会創出機能」の両方を担う可能性もあります。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>この場所は表参道や青山と渋谷の賑わいを繋ぐ上でとても重要だと思います。現在検討されている内容はどちらかというと利用者が限定的であったり、地域住民の方へ向けた施設が中心になっていて、誰もが行きたいとは思わないのではないのでしょうか。</p>	
<p>本地区は青山通り沿いに位置し、多くの人々が行き交う場所であり、交通の便も非常に優れております。そのため、表参道・青山エリアと渋谷エリアの活気をつなぐ重要な役割を果たしている地区と考えております。さらに、この周辺にはさまざまな商業施設や店舗が立ち並び、多くの訪問者が訪れ楽しむことができる魅力的な地域です。</p> <p>上記より、導入機能に関しましては、特定の利用者や地域住民に向けたものに限定されることなく、訪問者が集まり利用できる機能や、エリアの賑わいを一層創出するような機能が求められるのではないかと考えております。</p>	<p>まちづくり方針では、当地区の将来像「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」の実現を通して、多様な人々の交流や創造活動が、新たな文化・アイデアの創造、個々人の成長につながる場、一人一人が多様な過ごし方を選択でき、心の豊かさを実感できる、憩いと交流の場としていくこととしており、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>

<p>図書館や劇場など、時代のニーズに合っているとは思えない施設の想定が多いが、財源や施設の継続性についてはどの様に考えているか。税金を使って建てた施設が閑散としてしまうのは勘弁してもらいたい。民間活用を考えているようだが、多くの人に来て稼げるような施設でないとい絵に描いた餅になるのではないかと不安である。</p>	
<p>こどもの体験機会創出や女性活躍支援、起業支援など、過去や現在の機能を踏襲した考えものが多いと感じる。具体的にどのような機能を考えていて、何故この場所に建てるのかを検討し、必要によっては他の場所への移転や廃止等も考えるべきである。</p>	<p>まちづくり方針では、文化・交流・教育施設等が集積する地域特性や、子供・国際交流・女性・スタートアップなど、様々な支援等に係る機能が個々に効果を発揮してきた地区の現状等を踏まえ、当地区では、「人への投資」を一層加速させ、「人」の力を高め、引き出し、一人ひとりが主役になる社会の創出につながるまちづくりを進めていくこととしています。</p> <p>なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>機能に詰め込み感があるので、余白とありますが、空間的なゆとりも確保してほしい。</p>	<p>まちづくり方針において余白とは、「特定の機能を持たず、人々の自由な発想で、自由に使われ得る可能性を有した場所など」としており、空間的なゆとりを設けることも想定しています。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>(2) 創造・交流機能 (1件)</p>	
<p>創造・交流機能の「創造的な活動の発表や知的好奇心を喚起する催し等も行える空間を提供し、人々の智の創造・発信に貢献」という表現について、「催し物等を行える空間」というと、管理されている感じが強く連想されました。「能動的」や「余白」といった文言の記載があるとおり、子供をはじめ、若者達が、自分たちで考え、自分たちで何かを見つけ、知的好奇心に突き動かされるままに自由に活動ができる、そんな空間が創り出されるようなイメージが感じ取れる記載があるといいと思いました。</p>	<p>まちづくり方針では、創造・交流機能について、訪れる人の知識、創造性及び好奇心を育むとともに、人々の活動・交流の受け皿となり、人々の個性や可能性を開くこととしており、訪れる人の創造的で自由な活動の受け皿としての機能を掲げています。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p> <p>なお、ご意見の趣旨を踏まえ、以下のとおり、修正しました。</p> <p>3. 神宮前五丁目地区の導入機能等 P10</p> <p>訪れる人を含めたまちの担い手同士が交流でき、創造的な活動の発表や、知的好奇心を喚起する催し等も行うことができる空間を提供し、人々の智の創造・発信に貢献</p>
<p>(3) こどもの体験機会創出機能 (5件)</p>	
<p>「子供の城」の跡地の開発であるため、日本の子供が、世界で活躍する為に必要なりテラシーを保管するための施設であって欲しい。</p>	<p>まちづくり方針では、将来像として、誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」を掲げ、機能間の連携により、子供をはじめとした多様な人々の交流や創造活動が、新たな文化・アイデアの創造、個々人の成長につながる場を創出することとしています。</p> <p>「智の創造拠点」では、受動的だけではなく、能動的な活動を誘発する過ごし方もできる環境を整備することで、一人一人が心の豊かさを実感でき、自己実現が図れる場を目指していきます。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>こどもの城がクリニック、宿泊研修室、体育館などを設けた全国で唯一のC型の大型児童館であり、関東近県では東京都児童会館や茨城県立児童館などの閉館により、大型の児童館が非常に少なく、都民の城の計画を中止したことも踏まえて、新施設ではこどもの城と同等のC型児童館の基準を満たす施設が必要ではないか。</p>	<p>まちづくり方針では、旧こどもの城が担ってきた「子供の健全な育成」という役割を踏まえ、子供・若者が希望を持って自ら伸び、育ち、未来を創造できる場へと発展させていくこととしています。</p> <p>また、文化・交流・教育施設等が集積し、多様な人が行き交う当地区の特性や、旧こどもの城が次代を担う子供たちが心身ともに健やかに成長していくために重要な役割を担ってきたことを踏まえ、「創造・交流機能」や「こどもの体験機会創出機能」を「当地区全体で役割を果たす機能」とし、子供の興味・関心に応じて多様な体験ができる場を創出することで、子供の将来の可能性を広げるとともに、子供を育てる親にも親同士の交流機会や憩いの空間を提供することとしております。</p>

<p>こどもの体験機会創出機能の箇所「親世代」という記載があり、この表現では、子供がいない人は居てはいけないような印象を少し受けてしまいます。 将来像で示すように、多様な価値を認め、多様な過ごし方を選択できる場となることを期待しています。</p>	<p>まちづくり方針では、将来像において「誰もが」という形で対象を限定せず、多様な人々にとっての「智の創造拠点」を掲げております。 なお、ご意見の趣旨を踏まえ、「3. 神宮前五丁目地区の導入機能等P10」に記載のイメージを修正しました。</p>
<p>旧こどもの城があったことは歴史として事実ですが、乳幼児や児童向けの場ばかりではなく、中高生・大学生や20代、30代の若者が創造力を発揮できる場の整備を望みます。また、子育て世帯の親がほっとできるように、地区の中に託児スペースを設けていただきたいです。</p>	<p>まちづくり方針では、将来像において「誰もが」という形で対象を限定せず、多様な人々にとっての「智の創造拠点」を掲げ、「人への投資」を一層加速させ、「人」の力を高め、引き出し、一人ひとりが主役になる社会の創出につながるまちづくりを進めていくこととしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>渋谷は世界への文化の発信場所であり、若者、こどもたちにも人気のエリアでもあります。 こどもの城のレガシーを引き継ぎながら、少子高齢化の今、未来を担うこどもたちが、有機的に様々な人、もの、技術、文化、共生、考え方等日本と世界のあらゆるものに接し、柔軟で、新しい発想や繋がりを求められるような場所を作っていただきたい。</p>	<p>まちづくり方針では、旧こどもの城が担ってきた「子供の健全な育成」という役割を踏まえ、子供・若者が希望を持って自ら伸び、育ち、未来を創造できる場へと発展させていくこととしています。 また、「当地区全体で役割を果たす機能」として、文化・交流・教育施設等が集積し、多様な人が行き交う当地区の特性や、旧こどもの城が次代を担う子供たちが心身ともに健やかに成長していくために重要な役割を担ってきたことを踏まえ、“創造・交流機能”や“こどもの体験機会創出機能”を導入機能とし、子供の興味・関心に応じて多様な体験ができる場を創出することで、子供の将来の可能性を広げることとしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>

(4) 創造・交流図書館機能（8件）

<p>中央図書館のコンセプトが曖昧であり、交流機能を言い訳にして、知の集積を手抜きされては困る。各分野の専門家が仕事で使える規模の図書館が求められる。 都立図書館は民間研究者の支援が最大の目的でなければならない。とくに英語文献は抜本的な増強が必要である。 巨大繁華街に近い立地が問題で、交流図書館に交流と談話だけが目的の人々が押し寄せ可能性がある。図書館を機能させるには、入念な検討と工夫が必要である。交流させない雰囲気づくりが、その鍵かもしれない。</p>	<p>まちづくり方針では、人々の交流拠点やコミュニティの核となり、創作活動の場やインスピレーションを得る場として新たな価値や機能を提供する「創造・交流図書館」を軸として、その他の導入機能と連携し相乗効果を発揮しながら、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」を実現していくこととしています。 また、「創造・交流図書館」では、調査研究に役立つ図書館という現在の中央図書館の強みを生かしつつ、「智の創造拠点」において新たな智を創造する機会を提供することとしています。 まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>建設費が急騰しているため、建設費節約の努力をする必要がある。 青山劇場とコスモス青山は地下空間が大きいので、建物の基礎を流用して図書館の書庫を建てることできれば、建設費を大幅に節約できる。こどもの城の高層部分も建て替えずに女性支援機能などで活用するのが望ましい。 建設費が不足する場合には、広尾の現図書館と立地を分ける必要があるかもしれない。その場合にも、青山で図書館の拡張余地を残しておくべき。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>創造・交流図書館機能について、現状の中央図書館のイメージは専門図書利用と受験勉強であり、交流機能とは何か思いつきません。新しい図書館には新たな交流の場所をつくるのでしょうか。どのような機能が入り、公共は何をするか、また民間にどのような役割を期待しているのか明示して頂きたい。</p>	<p>まちづくり方針では、創造・交流図書館機能について、調査研究に役立つ図書館という都立中央図書館の従来の強みを生かしつつ、新たな智を創造する機会を提供する機能として、創造・交流図書館を当地区に導入することとしています。 具体的な機能イメージとしては、「知的好奇心を喚起し学びを深める機能」、「人々の創造や交流を生み出す機能」、「多様な智を集積・発信する機能」を想定しています。 まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>創造・交流図書館機能が、まちづくり検討会等の中で、中核性や他の機能との関連等が論じられることなく唐突に出てきたように思います。 創造・交流図書館が、「軸となる機能」として、その他の導入機能と連携し、相乗効果を発揮しながら、まちの将来像を実現するためには、図書館としての独立した「館」ではなく、民間施設を含め、機能構成・運営共に全体が融合する創造交流空間とすることは必須ではないでしょうか。</p>	<p>まちづくり方針では、まちづくり検討会での議論や都立中央図書館の新たな方向性の検討等を踏まえ、創造・交流図書館を軸に他機能と相互連携し、将来像を実現することと整理しました。 将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」を実現していくに当たっては、「当地区全体で役割を果たす機能」及び「軸となる機能」を設け、導入する各機能を相互に連携させ、相乗効果を発揮させていくこととし、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>全体としてコンセプト等は問題ないかと思えます。また、広尾有栖川宮公園に所在する中央図書館移転の方向性についても理解しました。広尾の現中央図書館の跡地活用の検討も併せてお願いします。東京戦略2050に記載の江戸東京伝統文化価値の磨きの反映もお願いします。</p>	<p>現在、都立中央図書館は、港区が所有する都市計画公園内に立地していますが、移転後は、原則として都が現状回復することとなっています。 また、まちづくり方針では、江戸・東京に関する貴重資料などを含めた豊富な蔵書等、従来の強みを生かしたサービスを展開することとしており、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>機能イメージの例として「読書ができるカフェやラウンジ」を挙げているが、飲食施設は図書館施設と明確に切り離してほしい。その分のスペースを図書館機能に充ててほしい。</p>	<p>まちづくり方針では、創造・交流図書館について、静かに集中できる場と人々が創造・交流できる場を、つながりながらも緩やかに分け、多様なニーズに応じた過ごし方を可能にすることとしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>創造・交流図書館（都立中央図書館）を当地区に設置と記載がありますが、当地区に創造・交流図書館が開業した後、現都立中央図書館やその周辺地区について、将来的な構想はあるのでしょうか。</p>	<p>現在地は港区が所有する都市計画公園内であり、都は許可を受けて図書館を設置しています。敷地については、原則として都が原状回復することとなっております。</p>

<p>都立中央図書館を移転するということが、過去の検討経緯や本地区の特性等との関連が見えず、唐突に感じる。図書館は具体的にどのような機能が導入され、また他の機能とはどのように連携するのか。</p>	<p>まちづくり方針では、まちづくり検討会での議論や都立中央図書館の新たな方向性の検討等を踏まえ、創造・交流図書館を軸に他機能と相互連携し、将来像を実現することと整理しました。 具体的な機能イメージとしては、「知的好奇心を喚起し学びを深める機能」、「人々の創造や交流を生み出す機能」、「多様な智を集積・発信する機能」を想定しています。 まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>(5) 劇場機能 (16件)</p>	
<p>新しい都の劇場が必要なのか。周辺における劇場の開業状況を見ると、コンテンツの囲い込みが進んでいる。 劇場を複合施設として建てると建設費がさらに高騰する。別々に建てるほうが安くなるし、地形の高低差を建設費節約と観客動線の改善に利用できる。 劇場は都が建てるのではなく、劇団に土地を貸して、自前で建ててもらわなければならない。ミュージカルと芸術系の演劇では、観客数も公演形態も違うので、両方が満足するものを建てるのは無理である。1200人の劇場をロングラン抜きに維持しようとするれば、旧青山劇場のようにコンサートに頼ることになるが、音楽は演劇以上にコンテンツの囲い込みが進んでいる。</p>	
<p>海外劇団の公演やインクルーシブな公演を行う劇場を目指すのであれば、字幕を表示する機構を備えてほしい。座席の傾斜、配置にも十分留意してください。KAATのように傾斜を変えられる劇場は素晴らしいです。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>劇場エントランスやロビーにおいて持ち込んだものを飲食する場がほしいです。ロビーで軽食を販売してもらえるのも大変ありがたいです。</p>	
<p>子供向けの有名なミュージカルはアンサンブルが多数出演する作品が多いです。十分な広さ・部屋数の楽屋を確保してください。可能なら稽古場を併設し、使わない期間は市民団体に開放すると思います。</p>	
<p>青山劇場や円形劇場の特徴であった複雑な舞台機構は人口増加・経済成長時代のバブルな設備と考えます。これからの時代は、複雑な舞台機構ではなく、仮設などに様々な演出に幅広く対応でき、メンテナンスも容易であるなど、固定設備を簡素にした劇場が求められていると思います。劇場は、1つの演目をずっと行うのではなく、年間を通して複数の演目が披露されるような劇場を望みます。</p>	
<p>劇場機能が、21世紀の間、東京を代表し、日本を代表する舞台作品の発表の場になる未来に喜びが溢れます。出来るだけ計画通りに実現されることを希望します。 この劇場が、今後益々多くの訪れるであろう外国人にとって文化交流の場になり、日本発の舞台芸術に触れてその魅力を伝えていく日本を代表する劇場になることを希望します。こちらが実現されれば、東京、日本の観光資源として新たな価値が生まれることは間違いありません。 また東京都民にとっても、新しい舞台芸術との刺激的な出会いの場となり、舞台関係者と、観客の育成にも繋がっていくことと確信いたします。</p>	<p>まちづくり方針では、多様な人々の感性を育むとともに、「創造・交流図書館」等との相乗効果により、新たな価値の発見をもたらす「劇場機能」を導入することなどにより、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」」を実現していくこととしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>劇場は、まちづくり検討会での委員の意見の通り、多様な使い方が可能な空間が、これからの創造交流機能として求められていると思います。「ミュージカル」との演目表記や、たとえ「参考」であっても「青山劇場は1200席程度」といった、規模感や固定席型の劇場を連想させる記載は、本まちづくり方針で語られている理念にふさわしくないため削除の上、委員の意見を酌んだ機能を導入することを方針に明記すべきと考えます</p>	

<p>青山円形劇場は、他では味わえない特色を備えた、非常に個性的で印象的な良い劇場だった。ぜひリニューアルして復活させてほしい。</p>	<p>まちづくり方針では、4敷地を一体的に活用することで、当地区の効用を最大限発揮させ、都の政策実現を図るとともに、地域のニーズや周辺まちづくりに貢献するため、旧こどもの城及びコスモス青山は、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」に再構築することとしています。</p> <p>青山劇場・青山円形劇場が存在した歴史を踏まえ、まちづくり方針では、多様な人々の感性を育むとともに「創造・交流図書館」等との相乗効果により新たな価値の発見をもたらす劇場を整備することとしました。</p> <p>また、「創造・交流機能」として、訪れる人を含めたまちの担い手同士が交流でき、創造的な活動の発表や、知的好奇心を喚起する催し等も行うことができる空間を提供し、子供をはじめとした多くの人々の「文化芸術活動への参加・交流の場の提供」という役割を継承していきます。</p> <p>なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>青山劇場は世界でも類を見ない全床スライド式の舞台機構を備えており、青山円形劇場は日本国内唯一の360度見渡せる完全円形の劇場であるため、都民の城の計画を中止したことを踏まえて新施設にも同様の施設を設けることが望ましい。</p>	<p>青山劇場・青山円形劇場が存在した歴史を踏まえ、まちづくり方針では、多様な人々の感性を育むとともに「創造・交流図書館」等との相乗効果により新たな価値の発見をもたらす劇場を整備することとしました。</p> <p>また、「創造・交流機能」として、訪れる人を含めたまちの担い手同士が交流でき、創造的な活動の発表や、知的好奇心を喚起する催し等も行うことができる空間を提供し、子供をはじめとした多くの人々の「文化芸術活動への参加・交流の場の提供」という役割を継承していきます。</p> <p>なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>東京の舞台芸術のデジタルアーカイブ機能を、もてないでしょうか。舞台芸術作品の視聴を出来る場所を持つことは役立つと思われます。</p>	<p>まちづくり方針では、多様な人々の感性を育むとともに、「創造・交流図書館機能」等との相乗効果により、新たな価値の発見をもたらす「劇場」を整備することとしています。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>舞台芸術のデジタルアーカイブ機能を持つのはいかがでしょうか。</p> <p>劇場で上演される作品をアーカイブしていくと共に、都内及び国内の多数のアーカイブを有する機関と連携することは、例えば収集作品の視聴や上映などでエントランスロビーのスペース活用や、「創造・交流図書館」等で上演作品と連動した展示 などとも非常に親和性が高く有効と思われます。</p>	
<p>劇場をぜひ作ってほしい。</p>	
<p>旅公演の千秋楽を誘致して、この劇場で公演した舞台の大道具、小道具、衣装等を終演後に展示していただきたいです。さらに、机や椅子などは併設のカフェ、隣接する図書館などで一定期間使ってもらえると聖地になると思います。</p>	
<p>「創造・交流図書館」等で上演作品と連動して、原作や劇団、脚本、演出家、俳優などへの理解が深まるような展示を作ってほしいです。また、パンフレット、上演脚本、上演映像は納本してもらったり、絵コンテ、舞台写真、舞台セットのミニチュア模型なども保存してもらえたら、全国でも珍しい舞台芸術の図書館になると思います。主催公演のみならず、場所貸し公演も対象とし、可能なら東京芸術劇場の公演分も収集してほしいです。</p>	

<p>児童館機能、青山劇場および青山円形劇場の存続を望みます。民間がなし得ない子どもに向けた演劇の発信など、渋谷という文化発信の地こそ、公共劇場として若い世代と劇場文化を繋ぐ役割を担ってほしいです。</p>	<p>まちづくり方針では、4敷地を一体的に活用することで、当地区の効用を最大限発揮させ、都の政策実現を図るとともに、地域のニーズや周辺まちづくりに貢献するため、旧こどもの城及びコスモス青山は、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」に再構築することとし、旧こどもの城が担ってきた「子供の健全な育成」という役割を踏まえ、子供・若者が希望を持って自ら伸び、育ち、未来を創造できる場へと発展させていくこととしています。</p> <p>青山劇場・青山円形劇場が存在した歴史を踏まえ、まちづくり方針では、多様な人々の感性を育むとともに「創造・交流図書館」等との相乗効果により新たな価値の発見をもたらす劇場を整備することとしました。</p> <p>また、「創造・交流機能」として、訪れる人を含めたまちの担い手同士が交流でき、創造的な活動の発表や、知的好奇心を喚起する催し等も行うことができる空間を提供し、子供をはじめとした多くの人々の「文化芸術活動への参加・交流の場の提供」という役割を継承していきます。</p> <p>なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>劇場機能は、演者の視点の記載も必要と考えます。「智の創造拠点」ということから、単に場所を提供し鑑賞するだけではなく、劇団員の卵等のたまり場にもなり、育てる場所になるといいと思います。</p> <p>例えば、創造・交流図書館機能等との相乗効果に、ここに行くところちょっとした練習をしている人がいて、仲間に会える的なそんな場所がイメージできると思います。</p>	<p>まちづくり方針では、多様な人々の感性を育むとともに、「創造・交流図書館機能」等との相乗効果により、新たな価値の発見をもたらす「劇場」を整備することとしています。</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえ、「創造・交流機能」として、以下を加筆しました。</p> <p>3. 神宮前五丁目地区の導入機能等 P10</p> <p>訪れる人を含めたまちの担い手同士が交流でき、創造的な活動の発表や、知的好奇心を喚起する催し等も行うことができる空間を提供し、人々の智の創造・発信に貢献</p> <p>なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>(6) 女性活躍支援機能 (2件)</p>	
<p>女性活躍支援機能は、東京ウィメンズプラザの後継機能と考えられ、施設の性格上、公共の運営による必要があると考えます。その旨もあわせてまちづくり方針において示していただきたい。</p>	<p>まちづくり方針では、女性活躍支援機能について、女性のキャリアアップや活躍の基盤づくりを後押しするとともに、その知見を活用し新たな価値を創出・発信することで、女性が個性や力を最大限発揮できる社会を実現することとしています。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>将来像の中に女性活躍支援機能と記載がありますが、コスモス青山にあったはたらく女性スクエアの窓口が再入居する予定なのか、別店舗の予定なのか方針を示していただきたい。</p>	<p>まちづくり方針では、女性活躍支援機能について、女性のキャリアアップや活躍の基盤づくりを後押しするとともに、その知見を活用し新たな価値を創出・発信することで、女性が個性や力を最大限発揮できる社会を実現することとしています。</p> <p>東京ウィメンズプラザやはたらく女性スクエアが個々に効果を発揮してきた地区の現状も踏まえ、女性活躍支援機能を導入することとしており、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>(7) 起業支援機能 (0件)</p>	
<p>-</p>	<p>-</p>

(8) 国連大学 (9件)

<p>国連大学は、施設の特異性に鑑み、1) 東京都が国連大学との連携の主体となること、2) 具体的な連携のあり方を示した上で、国連大学と東京都の連携に対して、民間事業者が連携をする形をとること、の2点が、4敷地一体でのまちづくりを担保するために必要だと考えます。東京都が主体となってその役割を担う旨をまちづくり方針において示していただきたい。</p>	<p>国連大学は、SDGsなど様々な国際課題解決のため研究や教育を実施しており、「智の創造拠点」を共創していくため、国際協力や学びの視点から、協力・連携していくこととしています。 また、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」」としての価値の維持向上を図るため、官民連携でマネジメントを行う仕組みを構築していくこととしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>建築計画の記載が少なく、建物の配置イメージがつきません。民間事業者の提案にゆだねるとしても国連大学が残ったままでは自由度が少なすぎるように感じます。</p>	
<p>国連大学と協力・連携することで、誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」を共創と書かれていますが、今の国連大学自体が開かれていない印象があります。 4敷地を一体的に活用と記載されていますので、国連大学も新しい建物の中に取り込んで開かれた施設としないのでしょうか。</p>	<p>国連大学については、国等との関連からもその敷地を活用することは困難と考えています。 なお、国連大学は、SDGsなど様々な国際課題解決のため研究や教育を実施しており、「智の創造拠点」を共創するため、現在地において引き続きまちづくりに協力していきます。</p>
<p>導入機能の円形の記載の中に、国連大学については具体的な施設名での記載がされていますが、そのままの形で残るのか、新しい建物に機能として入る形になるのかどちらでしょうか。一体的な新しい建物内に組み込む方が良いかと思えます。</p>	
<p>国連大学が検討区域に入ってるが、再整備される建物へ再入居するのか。それとも、既存の国連大学が残るのか。敷地一体での活用や青山通りとの繋がりを考えると、国連大学の移設・再入居等も検討するべきである。</p>	
<p>体制イメージの中に国連大学が入るのかを知りたいです。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>国連大学はプロジェクトマネジメントチームに加わるのでしょうか。</p>	
<p>国連大学機能とはどのような機能でしょうか。どのような活動をしていて、この地区においてどのような役割を担うのでしょうか。</p>	<p>国連大学は、SDGsなど様々な国際課題解決のため研究や教育を実施しており、「智の創造拠点」を共創していくため、国際協力や学びの視点から、協力・連携していくこととしています。 まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>各機能に「国連大学」という記載があるが、これは、「国際交流機能」ということではないのか。 多様な機能が連携して「智の創造拠点」を創出するために、現在地に存続する国連大学とも協力・連携するという視点は非常に重要で素晴らしいものと思うが、国連大学だけにとどまらず、「国際交流機能」という幅広い考え方を示したほうが良いと思う。</p>	

(9) 緑地・広場機能 (4件)

<p>緑地・広場空間の導入に賛成する。 都心の高層ビルが密集する地域だからこそ、オープンスペースを設けて、訪れる人の憩いとなる空間としてもらいたい。 様々なイベントが活発に行われる魅力的な場となることを期待している。</p>	<p>まちづくり方針では、緑地・広場機能について、各機能や人と人とのつながり創造・交流活動が誘発されるとともに、人々が憩える空間を創出することとしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>琵琶池を縮小する等、綺麗にする再整備の方針を出していただきたいです。</p>	<p>まちづくり方針では、緑地・広場の整備の方向性について、区内の高低差等、既存の敷地の特性を踏まえ、後背地との調和も考慮した特色ある空間を創出やグリーンインフラの導入（レインガーデン（雨水浸透））の検討などを行い、環境に配慮した取組を積極的に取り入れるなどとしています。 こうした考え方も踏まえ、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>琵琶池について、どの様に活かすことを考えていますでしょうか。</p>	
<p>「地域防災力の向上に寄与」するには、「平常時の定期的な防災訓練や災害時の避難・滞在空間としての活用等、地域の防災力向上に寄与する広場空間を創出する。」に加えて、エネルギーの多重化と災害時の自立分散型電源の追加をご検討いただきたい。</p>	<p>まちづくり方針では、環境に関する新たな技術開発の動向も見据え、先進的な技術を活用しながら、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利用等も想定しています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>

(10) その他の機能 (10件)

<p>渋谷という立地にも関わらず、図書館や劇場等落ち着いた文化的な側面が強いと感じる。 街の同質化を避けるために渋谷というエリアの特徴をもっと生かした賑わいやエンターテインメントの要素を強くする必要があると考える。</p>	<p>当地区は、渋谷と表参道等との結節点として多様な人が行き交う場所に位置し、文化・交流機能等が集積する高いポテンシャルを有する貴重な土地です。 そのため、今回のまちづくりでは、今までの図書館の枠組みを超えた創造・交流図書館を軸に、劇場など様々な機能を導入し、各機能間で相乗効果を発揮し、子供をはじめ誰もが、集い・つながる「智の創造拠点」を整備するとともに、多様な過ごし方を選択でき、心の豊かさを実感できる憩いと交流の場を整備することとしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>「エンターテインメントなどの先進的な文化が国内外へ発信されている」と記載されていますが、現在の導入用途にはエンターテインメントの要素が弱い様に見受けられます。この場所にふさわしいエンターテインメント機能の充実を検討するべきではないでしょうか。</p>	
<p>都内や渋谷周辺では劇場の整備が進んできています。本地区では劇場だけでなく、多様なエンターテインメントの誘致が可能な機能の導入が望ましいと思います。</p>	
<p>導入機能の「その他機能」に、「将来像実現のために必要な機能」として「商業・業務機能」の例示があるが中途半端である。将来像は、広く商業・業務・宿泊・居住等の機能を複合的に導入することでこそ達成されると考える。その旨明記されたい</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。 なお、住宅機能の導入は現時点では想定していません。</p>
<p>青山学院大学から渋谷サンロッカーズがホームを移すことになり、渋谷から出て行ってしまいました。戻ってきて渋谷を盛り上げて欲しいと思うのですが、この場所にホームアリーナを建てて呼び戻せないでしょうか。</p>	<p>当地区の将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」は、機能間の連携により、子供をはじめとした多様な人々の交流や創造活動が、新たな文化・アイデアの創造、個々人の成長につながる場等の創出を目指しています。 そのため、将来像を実現するために想定している機能は、「創造・交流機能」「こどもの体験機会創出機能」、「創造・交流図書館機能」「劇場機能」「女性活躍支援機能」「起業支援機能」「国連大学」「緑地・広場機能」「その他機能」であり、大規模なスポーツ施設の整備は想定していません。</p>
<p>アルパルク東京、サンロッカーズ渋谷、どちらもBリーグ基準のアリーナ整備ができず、渋谷からホーム移転してしまって残念。Bリーグ基準を満たすアリーナを今回の場所に整備しスポーツによる街づくりを進めてほしい</p>	

<p>半蔵門にある国立劇場を神宮前五丁目地区への移転を提案する。新しい国立劇場はその地に建て替える予定ですが、場所が不便ということもあって暗礁に乗り上げている。</p> <p>新しい劇場を渋谷・青山エリアに移転することで、子供をはじめ、東京都民や日本国民、さらには海外からの観光客にも、より気軽に、身近に日本の伝統芸能を楽しんでもらうことができると考えます。特に子供向けのプログラムをすることにより、自国の文化や伝統芸能を知り、実際に体験してもらう機会となり、学校でも習えない経験になります。また、渋谷・青山エリアが日本の伝統文化の中心地となることで、そのエリアの価値を高め、一層の発展を遂げることも期待できるでしょう。</p> <p>神宮前五丁目地区の敷地面積は、現在閉館中の国立劇場の敷地面積はより大きく、物理的に見ても、施設が移転するには十分な広さです。また、現在の「伝統芸能情報館」を、より本格的な伝統芸能博物館として補強すれば、日本国内でも他にない貴重な文化施設となり、国内外の多くの人々にとって、重要かつ魅力的な文化遺産の発信拠点となると考えます。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p> <p>なお、国立劇場の移転整備は国によって行われるものであり、都として、当地区への移転は想定していません。</p>
<p>「『智』の創造拠点」として、多様な人材を受け入れ、滞在・交流させ、持続可能な街づくりを実現させるためには、本敷地内に期間、想定対象者、付帯するサービスなど様々な形態の住宅・滞在施設が必要であると考えます。</p> <p>特に東京では研究者や観光客の中期滞在を前提とした滞在施設が中心部に少なくそういった機能を担うことも必要であると考えます。</p> <p>また、当該地は日本でも最上位に位置づけられる住宅立地でもあるため、一部住宅（賃貸または分譲）についての選択肢をすることで、全体としてより国際的な都市間競争が高まることになると考えます。</p> <p>また、住宅の分譲を行う場合は、土地の処分方法について定期借地以外の方法(売却等)も可能とすべきであると考えます。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p> <p>なお、住宅機能の導入は現時点では想定していません。</p>
<p>障害者、病弱者、トランスジェンダー等多様な人々が交流することによる「互いの理解と共生が醸成する場」のコンセプトを入れていただきたい。</p> <p>昨今の国際情勢も鑑み、渋谷から発信できる平和への概念や、どのような立場（障害者、病弱者、年齢、LGBTQ等）であっても意見を表明し、意見交換することによる互いの理解と共生が醸成する場の創設とそれを世界に発信する機能をいれていただきたい。</p>	<p>まちづくり方針では、将来像として、誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」を掲げており、機能間の連携により、子供をはじめとした多様な人々の交流や創造活動が、新たな文化・アイデアの創造、個々人の成長につながる場を目指していくこととしており、多様な人々にとっての「智の創造拠点」を将来像としています。</p>

5 まちづくりを行う上での配慮事項	
(1) 建築計画 (4件)	
<p>建築計画として、余白にも考慮した計画とする、冗長性・可変性も考慮した計画とする、とありますが、建物として未完成な部分を残すようにも受け取れます。 この部分の記載主旨を鑑みますと、建築計画全体ではなく、創造・交流活動誘発のための空間を対象に、創造・交流活動を促すための空間的・機能的なフレキシビリティにも配慮した計画とする、といった指針提示が適当ではないでしょうか</p>	<p>まちづくり方針において、「余白」とは、特定の機能に限定しない多様な活動をフレキシブルに許容可能な空間を意図しています。</p>
<p>神宮前5丁目は渋谷駅/表参道駅の間かつ青山学院・国連大学も立地する閑静で落ち着いた地区であり、配置機能及び機能活用施策については、渋谷駅・表参道交差点周辺とは一線を画して、より知的で質の高い人材と企画が集うイメージを要請します（隣接地は国連大学が配置）。また、周辺脇道の交通量が増え閑静な地域秩序を乱さない配慮と対策をお願いします。</p>	<p>当地区は、渋谷と表参道等との結節点として多様な人が行き交う場所に位置し、文化・交流機能等が集積する地域特性や子供・国際交流・女性・スタートアップなど、様々な支援等に係る機能が個々に効果を発揮してきた地区の現状などを踏まえ、「機能間の連携により、子供をはじめとした多様な人々の交流や創造活動が、新たな文化・アイデアの創造、個々人の成長につながるが場」を目指すこととしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>ベンチャー経営者や渋谷駅表参道駅周辺に集う人材が集まる機能やイベントが多くなると閑静で落ち着いた立地という特性が失われる可能性が高いので十分配慮お願いいたします。良貨を集め続ける機能配置と機能活用施策を検討してください。</p>	
<p>住宅街と直接接するところもあるため、周辺環境への配慮・調和という視点も持って頂ければと思います。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
(2) 景観形成 (3件)	
<p>新たに新築または改築する部分も、青山のイメージを壊さない程度の質感が求められる。</p>	
<p>商業・業務・宿泊・居住等の機能は複合的に整備することにより効果を発揮するものであり、定期借地による都有地活用を促進する上でも、青山通り側のゾーンの土地の高度利用を図ることを、景観形成の考え方等に明記いただきたい。</p>	
<p>今後の事業内容について、計画が具体化されていくとは思いますが、都心の一等地であり、琵琶池や豊かな緑がある地域の特性を持つこの地において、また変化する社会情勢の中で、超高層の開発も可能なのが伺いたい。公共施設である都立中央図書館、劇場やその他機能を民間事業者が整備、運営・管理するのであれば、事業計画的にもある程度の高度利用は必要であると思う。その他機能の例として、青山通り沿いのにぎわい創出に寄与する商業機能、地域特性を生かした業務機能等の記載のとおり、にぎわい創出のための商業施設や計画地ならではの業務機能も必要である。もう少し規模感が想定できる記載があってもいいのではないかと思う。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
(3) 環境配慮 (3件)	
<p>構造の木造化、国産木材の積極的な利用の記載があるが、使用された木材が10年に満たずカビ・腐食により劣化している建築のものもある。維持管理の観点も考慮、ではなく安全の担保やメンテナンス性についてはデザインやコンセプトよりも優先されるべき。</p>	
<p>「環境に関する新たな技術開発の動向も見据え、先進的な技術を活用しながら、省エネルギー対策や再生可能エネルギー利用等によるカーボンマイナスの推進と質の高い緑化の増進等を行うことでゼロエミッション東京の実現に寄与する。」に加えて、エネルギーの面的融通と高度なエネルギーマネジメントの実施、再生可能エネルギーの出力変動を補完する調整力としてのコージェネレーションシステムや蓄熱槽等の追加をご検討いただきたい。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>「環境問題や環境負荷低減のための取組に触れられるなど、子供や学生が環境意識の醸成に資する環境問題や環境負荷低減のための取組」として、脱炭素社会の実現に向けた取組みであるCO2の回収・利用技術(CCU)の導入を提案します。</p>	

6 「智の創造拠点」として持続的な価値の維持向上を図るための取組（官民連携）（10件）

プロジェクトマネジメントの体制イメージについて、プロデューサーは民間の実務統括で、プロジェクトマネージャーは東京都の実務統括として下さい。東京都の多数の部署が関わるので、横ぐしの組織をつくってそこに実務統括を置いて下さい。民間との会議では、大会議とならないよう実務統括と担当1人くらいの出席として下さい。

民間事業者の決定後、事業の内容について協議調整する旨が強調された記載となっておりますが、官民連携の前提として、各機能について、公共が何を担い、民間とどう連携するかという基本的な役割を明確に示していただきたい。

民間事業者は官民連携の基本的な役割が示された上で提案を行い、選定された民間事業者は提案をもとに協議調整を行うのであって、官民連携についての方針は「各機能について官民が何を担い合い、どう連携するかという基本的な方針を明確に示すことで、創意工夫豊かな民間事業者の提案を求める」ことを骨格に据えるべき。全面的に再考されたい

官民連携について、「計画段階から事業の内容について協議調整し、具体的な計画を策定する」とありますが、民間事業者を選定した根拠性が曖昧になること、事業計画の不透明化により民間事業者の提案意欲を削ぐことにもつながることを大いに危惧します

専門家やプロデューサーに誰が就任するのか、都民の投票で決めさせてほしい。都からの依頼や自薦も含めて候補者を提示し、その中から都民自身が選ぶことで、計画の初期段階から都民がまちづくりに参加できる仕組みを構築してほしい。

オリンピックや万博のニュースでは後になってから費用が大幅に増えたと話題になっているので、プロジェクトマネージャーはコスト等に配慮できる人物が務める必要がある。

ワークショップなどの機会を設ける際には、広く都民に機会をいただけるよう、広報などにも力を入れていただきたい。特にこどもは意見を言う場がなかなかないので、自由に意見を言える場をつくってほしい。

導入機能の中で具体的にこどもたちがどのように参加していくことができるのか、「ワークショップなどの機会を設け、地域の方や施設利用者、子供などと意見やアイデアを交換し、新しい発想を生み出していく」ことをはじめから頻回に行っていただき、ぜひこどもたち自身の声、若者の声、地域住民の声に耳を傾けていただきたい。

官民連携には明確に反対する。「民間事業者から提案を受け、定期借地による都市地活用」とは、都民の共有財産である都心の一等地を民間企業に差し出すに等しい。工事を民間が実施することはあっても、整備・運営のマネジメントに民間が関わるべきではない。全体奉仕よりも特定企業の利益誘導が優先される恐れがある。また都と特定企業の癒着が生じる。

都内に若者のパワーを感じる場所はいくつかあり、渋谷・青山・原宿などの計画地周辺もその一つであるが、その中でも今回の場所はクリーンなイメージが強いため、子供も安心して訪れることができる場所だと思う。そのような場所でのまちづくりにおいて、ワークショップなどで子供や若者の意見を聞くことはとても重要であるため、プロジェクトマネジメントの部分に、子供だけでなく「若者」という言葉も入れるとより良いと思う。

まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。

当地区の将来像である「智の創造拠点」を実現させるためには、民間のノウハウや創意工夫を取り入れることが重要なため、民間事業者から提案を受け、定期借地による都市地活用を想定しています。

まちづくり方針では、官民複合の多様な導入機能を想定した「智の創造拠点」としての価値の維持向上を図るため、計画段階から将来の企画・運営内容等も見据え、都・専門家・各施設の管理運営者等が連携してマネジメントを行う仕組みを構築することとしています。

官民連携の取組に係る具体的な事項等については、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。

ご意見の趣旨を踏まえ、以下を加筆しました。
4. 「智の創造拠点」として持続的な価値の維持向上を図るための取組（官民連携） P17
ワークショップなどの機会も設け、地域の方や施設利用者、子供・若者などと意見やアイデアを交換し、新しい発想を生み出していく

7 その他（16件）

<p>円形劇場の部分は、旧青山病院前の道路を2車線化するために撤去すべきであろう。</p>	<p>4敷地を一体的に活用することで、当地区の効用を最大限発揮させ、都の政策実現を図るとともに、地域のニーズや周辺まちづくりに貢献するため、旧こどもの城及びコスモス青山は、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」に再構築することとしています。 なお、まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>今回の開発について、工事が開始される時期はいつ頃を想定しているのでしょうか。また、開発全体が開業となる時期はいつ頃を想定しているのでしょうか。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。 なお、事業者選定や再整備のスケジュールについて、現時点では未定です。</p>
<p>旧こどもの城は老朽化していません。長年親しまれてきた今ある立派な施設をそのまま活かすことが環境のためにも大切だと思います。</p>	<p>4敷地を一体的に活用することで、当地区の効用を最大限発揮させ、都の政策実現を図るとともに、地域のニーズや周辺まちづくりに貢献するため、旧こどもの城及びコスモス青山は、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」に再構築することとしています。 なお、旧こどもの城が担ってきた「子供の健全な育成」という役割を踏まえ、子供・若者が希望を持って自ら伸び、育ち、未来を創造できる場へと発展させていくこととしています。</p>
<p>ステップアッププロジェクト2（東京都児童会館跡地）では、超法規的措置による容積率の拡大をもとに高層建築物の建設が進められ、周辺住民の皆様の住環境とりわけ日照への影響が深刻であると伺っております。 まずはステップアッププロジェクト2で発生している問題を、行政・事業者・地元住民が十分に協議し、実効性のある対策を講じることで円満な解決を図ることが肝要です。これらの課題が未解決のまま、同趣旨のプロジェクト（実質的にステップアッププロジェクト3）に進むことには大きな懸念がございます。</p>	
<p>住民の安心・安全な暮らしを守るためにも、ステップアッププロジェクト2で顕在化した問題点（特に日照や生活環境への影響など）を十分に踏まえ、同様の課題が再発しないよう、丁寧かつ透明性の高い合意形成プロセスを経たうえで、事業を進めていただきたく存じます。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。 また、法令等に基づき、適切にまちづくりを進めていきます。</p>
<p>近隣に新たに整備される都立中央図書館は、地域の知的拠点として大変意義深い事業であると考えます。しかし、その恩恵が周辺住民の過度な負担によって成り立つような計画では、長期的なまちづくりの観点から好ましくありません。 そこで、日照をはじめとする生活環境への十分な配慮を確保しながら、将来的な地域のにぎわいと文化・学術活動の促進に資する計画に修正および運営を行っていただくよう、強く要望いたします。</p>	
<p>ステップアッププロジェクト2で生じている影響への誠意ある対応と、住民合意を前提とする再発防止策の構築があつてこそ、次フェーズとなるプロジェクト（神宮前五丁目地区まちづくり方針＝実質的なステップアッププロジェクト3）への理解と協力が得られるものと確信しております。</p>	
<p>コスモス青山に入っているテナントの再整備後の扱いはどうなるのでしょうか。再入居するのでしょうか。</p>	<p>コスモス青山に入っている各テナントの再整備後の扱いについては、今後、丁寧に調整を行ってまいります。</p>
<p>再整備のスケジュールや、事業者選定のスケジュールが知りたいです。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。 なお、事業者選定や再整備のスケジュールについて、現時点では未定です。</p>
<p>本敷地は、日影規制があり、建物設計上の制約が非常に大きく、比較的高層の建物を建設できるのは青山通沿いの限られた範囲のみとなります。 そのため、既存施設(旧こどもの城及びコスモス青山、国連大学)に関しては、建て替えを前提に民間事業者からの提案を募集する方が柔軟で発想力豊かな提案が出てくると考えます。</p>	<p>4敷地を一体的に活用することで、当地区の効用を最大限発揮させ、都の政策実現を図るとともに、地域のニーズや周辺まちづくりに貢献するため、旧こどもの城及びコスモス青山は、将来像である「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」に再構築することとしています。 なお、国連大学については、国等との関連からもその敷地を活用することは困難と考えています。</p>

<p>本敷地は、日影規制の関係上、建築物設計上の制約が非常に大きく、P8・P9に記載の機能を本敷地で全て配置することは収益面で課題が発生することが見込まれます。民間事業者選定の際には、それらの制約を考慮し、借地料などの定量的な判断軸を中心として事業者を選定するのではなく、コンセプトや実現可能性の観点等の判断軸を持つことで、本敷地が目指す「智の創造拠点」の実現により近づくことができると考えます。</p>	
<p>青山学院大学の意向（本開発に関心があるとか、進出したいとか、今の同大学の建て替え、開発ニーズ）も必ず確認すべき。</p>	
<p>本地区の整備費用に関しましては、民間資金を活用するものと推察いたします。本地区はその希少な立地から、大きなポテンシャルを持つと捉えており、まちづくり方針においては幅広く多様な機能の導入が検討されていることから、本地区の最大限の活用を目指していると認識しております。</p> <p>しかしながら、民間資金の活用という観点におきましては、必須の導入機能が多岐にわたることや、劇場等の収益性が限られる施設計画が事業性に不利に働く可能性がある点を懸念しております。また、今後予定される事業者公募におきましても、導入機能に関わる条件の幅を柔軟に設定いただくことで、本地区の価値と魅力を一層高める多様な提案が可能となると考えております。導入機能のバランスにつきましては、上記の観点を十分に考慮いただくことが望ましいと存じます。</p>	<p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>こどもの城跡地、国連大学、コスモス青山、青山病院跡地、オーバルビルを含めた一体開発をすべき。こどもの城を解体、一時賃貸、青山病院跡地の返還、その後が良いと思う。まずは、こどもの城を解体し、5年程定期借地にて収益を稼ぐべき。固定資産税も入る。デベ等から多くの情報や提案も入り、必ず参考になる。青山病院の跡地を渋谷区に5年貸しているのと同じ期間で一時的に利用すべき。</p>	<p>まちづくり方針は、青山通りに面した旧こどもの城と周辺の都営有地である青山病院跡地、コスモス青山敷地及び国連大学敷地を対象としています。</p> <p>まちづくり方針策定後、具体的な計画内容など民間事業者からの提案募集に必要な条件を整理する等、事業実施に向けて検討を進めていきます。</p> <p>なお、旧こどもの城の敷地のみの一時賃付は、現時点では想定していません。</p>
<p>地元の情報公開はすべき</p>	
<p>地元の商店会会長や町会会長を検討会（準備会）のメンバーに入れて地元の意見も情報共有出来るようにしてほしい。 難しい場合は、検討会の区の担当、まちづくり課と地元で連携を密にし情報共有出来るようにしてほしい</p>	<p>引き続き、区ともコミュニケーションを取りながら、まちづくりを進めていきたいと考えています。</p>